

UPS の使用方法

セルコのデジタルビデオレコーダ(DVR)と三菱電機製 UPS FW-A10H-0.7K との使用方法を説明します。

1. 停電時に DVR を自動的にシステム終了するために使用する場合

①UPS の設定

- ・UPS の初回使用時は「Charge」LED がすべて点灯するまで充電してください。UPS の入力プラグを商用 AC 100V コンセントに差し込めば充電されます。
- ・設定の前に、UPS と DVR の電源オフを確認します。
- ・UPS のディップスイッチは SW1 のみ ON にして残りは OFF にします。

②UPS と DVR の接続

- ・UPS の RS-232C ポートと DVR の RS-232C ポートを別売りの専用の通信ケーブル FW-SDC-A(三菱電機)で接続します。(別紙参照:三菱製 UPS と弊社 DVR のターミナルブロック式 RS-232C との接続について)
- ・DVR の AC 電源ケーブルを UPS の出力コンセント[OUTPUT1]に接続します。
- ・UPS の AC 電源ケーブルの入力プラグを商用 100V コンセントに差し込みます。UPS がオンになり、DVR が起動します。

③DVR の設定

- ・設定で[装置]—[その他]—[UPS]の[ポート]で「RS232」、[UPS 製品]で「UPS (MITSUBISHI)」を選択します。

・「ポート」の設定値は

ボーレート:9600 データ長:8 ストップビット:1 パリティ:なし

③動作

- ・DVR は 30 秒毎に、UPS に停電確認信号を送信します。
- ・商用電源が断になると UPS はこれを認識して、DVR から UPS に送られてくる信号に応じて、UPS は DVR に向けてシステム終了信号を返信します。DVR は、この信号を受けてシステム終了状態になります。この 3 秒後に DVR は UPS に対して、UPS もシャットダウンされるように信号を送ります。
- ・DVR からのこの信号を受けて UPS もシャットダウンされ、DVR への電源も遮断されるのでシステム終了状態の DVR は安全に電源が切れます。
- ・商用電源が復帰すると、UPS は自動起動して、DVR に電源供給を開始しますので、DVR は起動して通常動作を再開します。

2. UPS を停電時のバッテリーバックアップ用途で使用する場合

①RS232C ケーブルは接続しない。(不要)

②UPS のディップスイッチは、すべて OFF に設定

③動作

- ・約 1 時間のバックアップの後、DVR は強制電源断になります。
※バックアップ時間は、UPS の電池の劣化や充電状態、DVR の消費電力によって変わります。